

# 自衛隊に「常設の統合司令部」

## 安保3文書で組織改編

敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有が新たに盛り込まれ、昨年12月に改定された安全保障関連3文書では将来の自衛隊の在り方を示された。「防衛政策の大転換」といわれる結論で、自衛隊の組織は大きく変わることとなる。

3文書に示された組織改編の明記。「防衛力整備計画」では改編時期が「速やかに」と記述された。

現在の自衛隊の制服組合部の創設だ。「国家防衛戦略」で「陸海空自衛隊の一元的な指揮を行はずる常設の統合司令部を創設する」とある。

陸上自衛隊 沖縄県に部隊第4、長射程ミサイル部隊を新設、一部隊員を海空自衛隊へ  
海上自衛隊 イージス艦8隻から10隻に増強、米国製巡航ミサイル「トマホーク」搭載  
航空自衛隊 「航空宇宙自衛隊」に改称、宇宙作戦能力を強化、宇宙領域の専門部隊も

## 震災の教訓 陸海空を一元運用

ある。たゞ、統轄長は防衛相を補佐する仕事に忙殺され、部隊を使いこなす余力が少ないと指摘がある。そこで今回、部隊を指挥する機能を改め、「統合司令部」に与え、統轄長は防衛相の補佐に専念する形とするものになった。

統合司令部の創設は、東日本大震災時に統轄長が折木良一氏が既に起きた任務を指揮しつつ、官邸や防衛省、米軍との調整も同時進行させた。原発の放水では自衛隊と警察、消防、東京電力などの調査も必要だったといふ。

そんな経験から「部隊指揮に手間取ることは致命的な結果をもたらしかねない」と折木氏は指摘する。こうした提言を受け、陸海空の各自衛隊の運用を一本化する統合司令部を常設し

て統合司令部を置き、日常から全体を把握する仕組みに大きく変わる。

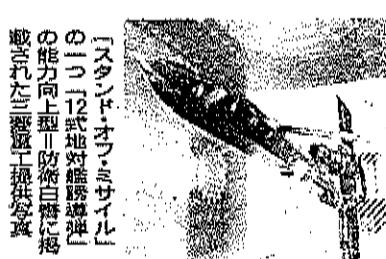
ただ、防衛省内には「直

接に部隊指揮を任せても、統合長が統合司令部に指示するばかり、組織の結節点が一つ増えるだけでむしろ効率が悪くなる」との声も。

「直系とのやり取りが多い防衛相を補佐する仕事に専念すれば、官邸と防衛相が連携すれば、内閣の距離が近くなる。防衛省の影響力が相対的に弱まり、内閣統制（シビリアンコントロール）が利きづくくなる」との指摘もある。

いた。

## 「文民統制利きにくくなる」指摘



### 沖縄周辺重点化 イージス艦増強

自衛隊の姿が大きく変わった。「防衛力整備計画」によれば、那覇市を拠点とする第15旅団を「細田に改編する」との方針が記されている。一方、陸上が持つ戦闘用と情報収集用のヘリコプターを廃止し無人機に置き換えた。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方、陸上が持つ戦闘用と情報収集用のヘリコプターを廃止し無人機に置き換えた。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した

「一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した」と記載される。一方で、陸上自衛隊北部方面總監も防衛相補佐官を兼任した